



平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月28日

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ
コード番号 9627 URL <http://www.ainj.co.jp>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 水島 利英

TEL 011-783-0189

四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	75,090	9.1	4,209	△12.0	4,454	△8.6	2,137	△9.6
24年4月期第2四半期	68,833	11.3	4,781	39.9	4,871	40.4	2,364	39.3

(注) 包括利益 25年4月期第2四半期 2,148百万円 (△5.9%) 24年4月期第2四半期 2,282百万円 (46.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	134.10	—
24年4月期第2四半期	148.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年4月期第2四半期	92,511	35,097	37.9	2,199.73
24年4月期	85,908	33,745	39.2	2,113.79

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 35,065百万円 24年4月期 33,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,500	10.3	11,510	12.3	11,630	10.3	6,010	22.7	376.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社アインメディカルシステムズ
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年4月期2Q	15,944,106 株	24年4月期	15,944,106 株
② 期末自己株式数	25年4月期2Q	3,366 株	24年4月期	3,316 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年4月期2Q	15,940,748 株	24年4月期2Q	15,940,953 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年5月1日～平成24年10月31日）におけるわが国の経済は、欧州・中国等、対外経済環境の不確実性を背景として、企業収益、生産、輸出等において減速の傾向が見られております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aとともに、医療モール開発を推進し、また、都市型ドラッグストアの出店、既存店のMD改善を継続し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が750億9千万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は42億9百万円（同12.0%減）、経常利益は44億5千4百万円（同8.6%減）となり、四半期純利益は21億3千7百万円（同9.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

医薬事業は、平成24年4月の薬価改定において、公定薬価が平均6.25%の引下げとなる一方、処方日数の長期化により、調剤薬局既存店の処方箋1枚当たりの単価、薬局売上高は、概ね前年並みで推移しております。

新規開発に関しては、従来の門前型調剤薬局の出店のほか、かねてより開発を進めておりました、医療モールにつきましても、当第2四半期連結累計期間に相次いで12件を開業いたしました。

医療モール開発は、当社グループとして施設開発、クリニック誘致及び薬局事業を総合的に関与し、地域医療に貢献するものであり、今後における成長部門として積極的に推進してまいります。

また、平成24年8月1日には、首都圏の調剤薬局を担当する主要子会社株式会社インメディカルシステムズとの吸収合併が完了し、営業開発機能の強化及び運営・管理部門の合理化を実現しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、666億2千2百万円（前年同期比8.5%増）と増収になりましたが、医療モール開発の開業前コスト及び新店の定着患者数不足により、セグメント利益は56億8千2百万円（同1.3%減）と減益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計44店舗の出店（うち、M&Aによる3社13店舗につきましても、買収時期により連結損益計算書への反映は第3四半期以降になります。）を実施し、3店舗を閉店した結果、当社グループにおける薬局総数は535店舗となりました。

(物販事業)

物販事業は、小売業全体として販売が伸び悩む状況にある中、ドラッグストア業界においても、同業間の出店及び価格競争に加え、昨年の震災後特有の需要の反動もあり、依然として厳しい市場環境が続いております。

当社では、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」のコンセプトである「ドラッグ&コスメティック」を明確にし、都市部の特に集客力の高いエリアへの出店を継続しております。

既存店においては、引き続き、医薬品及びコスメティック関連商品を中心にMDを改善し、販売力及び粗利益率の強化に努めるとともに、商品の自動発注システムの導入、モバイル販売促進の推進等、業務のシステム化によるコスト削減を図りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、82億8百万円（前年同期比12.3%増）となり、セグメント利益は、客単価の低下等の影響により、2千6百万円（同49.5%減）となりました。

同期間の出店状況は、アインズ&トルペ中野セントラルパークイースト店（東京都中野区）、横浜ポルタ店（横浜市西区）、京都アバンティ店（京都市南区）の3店を出店し、郊外型1店の閉店により、ドラッグストア店舗総数は58店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、主に賃貸部門の業績であり、医療モール事業の賃貸部門につきましても、本セグメントになります。

当第2四半期連結累計期間より、本格的に医療モール事業を開始したことにより、売上高は2億5千8百万円（前年同期比138.9%増）となりましたが、開業前コスト等によりセグメント損失は2億2千3百万円（前年同期は3千6百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より66億2百万円増の925億1千1百万円となりました。

主な要因は、新規出店及びM&Aによる事業規模の拡大に伴い、たな卸資産、未収入金、建物等の有形固定資産及び敷金保証金が増加したことによるものであります。

負債の残高は、52億5千1百万円増の574億1千3百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。

有利子負債の残高は、13億3千5百万円増加となる140億5千1百万円となりました。

純資産の残高は、13億5千1百万円増の350億9千7百万円となり、自己資本比率は1.3ポイントマイナスとなる37.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ10億9千6百万円減の148億3千8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益39億6千9百万円、仕入債務の増加額21億1千7百万円、減価償却費9億9千7百万円、のれん償却額8億2千2百万円を主な収入要因として、また、未収入金の増加額23億6千5百万円、たな卸資産の増加額14億3千8百万円、法人税の支払額28億7千9百万円を主な支出要因として、23億7千万円の収入（前年同期は75億3千3百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出25億1千9百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4億1千6百万円を主な要因として、35億8百万円の支出（前年同期は39億1千万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の借入れと返済の差額が10億3千2百万円の調達となり、また、配当金の支払額7億9千7百万円を主な要因として、4千1百万円の収入（前年同期は7億2千6百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成24年5月30日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社かつ特定子会社でありました、株式会社インメディカルシステムズは、平成24年8月1日を合併期日とする当社との吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後（連結子会社は平成24年4月1日以後）に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,935,326	14,853,932
受取手形及び売掛金	10,985,402	10,924,128
商品	8,138,749	9,658,793
貯蔵品	114,663	109,851
繰延税金資産	891,515	874,260
短期貸付金	606,000	177,669
未収入金	2,757,752	5,161,121
その他	917,774	812,955
貸倒引当金	△26,875	△24,701
流動資産合計	40,320,310	42,548,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,048,953	7,971,885
土地	5,621,786	5,947,823
その他(純額)	2,586,164	2,613,684
有形固定資産合計	15,256,904	16,533,392
無形固定資産		
のれん	17,664,823	19,417,228
その他	990,546	1,084,404
無形固定資産合計	18,655,369	20,501,632
投資その他の資産		
投資有価証券	2,825,629	3,127,924
繰延税金資産	1,122,782	1,120,202
敷金及び保証金	5,758,338	6,632,245
その他	2,208,196	2,290,525
貸倒引当金	△256,986	△251,586
投資その他の資産合計	11,657,961	12,919,311
固定資産合計	45,570,235	49,954,337
繰延資産		
株式交付費	17,748	8,748
繰延資産合計	17,748	8,748
資産合計	85,908,294	92,511,096

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,524,795	25,255,546
短期借入金	6,397,458	7,823,121
未払法人税等	2,739,772	1,692,872
預り金	7,714,207	8,183,046
賞与引当金	965,445	1,123,366
役員賞与引当金	12,846	12,935
ポイント引当金	302,011	302,011
その他	2,288,815	3,635,944
流動負債合計	42,945,352	48,028,844
固定負債		
長期借入金	6,318,430	6,227,980
退職給付引当金	1,448,905	1,572,032
その他	1,449,631	1,584,549
固定負債合計	9,216,967	9,384,562
負債合計	52,162,319	57,413,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	7,872,970	7,872,970
利益剰余金	17,426,435	18,767,002
自己株式	△5,627	△5,837
株主資本合計	33,976,755	35,317,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△281,315	△251,719
その他の包括利益累計額合計	△281,315	△251,719
少数株主持分	50,535	32,296
純資産合計	33,745,975	35,097,689
負債純資産合計	85,908,294	92,511,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
売上高	68,833,121	75,090,551
売上原価	57,927,728	63,593,065
売上総利益	10,905,392	11,497,485
販売費及び一般管理費	6,123,432	7,287,507
営業利益	4,781,960	4,209,978
営業外収益		
受取利息	28,915	38,686
受取配当金	24,354	23,092
受取手数料	24,946	30,721
不動産賃貸料	50,972	51,986
業務受託料	60,771	74,561
その他	134,101	191,377
営業外収益合計	324,062	410,426
営業外費用		
支払利息	92,724	71,182
債権売却損	34,340	36,829
不動産賃貸費用	18,504	17,503
貸倒引当金繰入額	30,000	—
その他	58,730	40,364
営業外費用合計	234,299	165,879
経常利益	4,871,723	4,454,524
特別利益		
投資有価証券売却益	13,002	—
固定資産売却益	800	10,881
受取保険金	—	50,000
その他	1,500	809
特別利益合計	15,302	61,690
特別損失		
固定資産除売却損	43,096	70,697
投資有価証券売却損	4,474	107,387
投資有価証券評価損	50,064	1,463
減損損失	113,323	—
役員退職慰労金	11,016	320,000
その他	133,863	46,919
特別損失合計	355,839	546,467
税金等調整前四半期純利益	4,531,186	3,969,747
法人税等	2,172,707	1,850,379
少数株主損益調整前四半期純利益	2,358,479	2,119,367
少数株主損失(△)	△6,171	△18,238
四半期純利益	2,364,651	2,137,606

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,358,479	2,119,367
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△75,594	29,595
その他の包括利益合計	△75,594	29,595
四半期包括利益	2,282,884	2,148,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,289,056	2,167,202
少数株主に係る四半期包括利益	△6,171	△18,238

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,531,186	3,969,747
減価償却費	815,915	997,084
減損損失	113,323	—
のれん償却額	563,972	822,858
投資有価証券評価損益(△は益)	50,064	1,463
退職給付引当金の増減額(△は減少)	107,991	123,127
賞与引当金の増減額(△は減少)	96,283	142,606
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6,270	89
受取利息及び受取配当金	△53,270	△61,778
支払利息	92,724	71,182
固定資産除売却損益(△は益)	42,296	59,815
売上債権の増減額(△は増加)	643,615	454,732
たな卸資産の増減額(△は増加)	95,210	△1,438,970
未収入金の増減額(△は増加)	86,380	△2,365,679
仕入債務の増減額(△は減少)	1,959,456	2,117,445
その他	879,295	362,715
小計	10,030,715	5,256,439
利息及び配当金の受取額	54,640	67,080
利息の支払額	△94,025	△73,195
法人税等の支払額	△2,458,203	△2,879,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,533,127	2,370,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,766,978	△2,519,146
有形及び無形固定資産の売却による収入	36,900	240,739
投資有価証券の取得による支出	△148,500	△368,760
投資有価証券の売却による収入	35,131	77,300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,033,990	△416,908
貸付けによる支出	△604,000	△103,000
貸付金の回収による収入	116,359	537,901
定期預金の預入による支出	△57,000	—
定期預金の払戻による収入	38,305	—
その他	△526,631	△956,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,910,402	△3,508,711

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,100,000	2,380,000
短期借入金の返済による支出	△2,017,590	△837,772
長期借入れによる収入	2,700,000	2,350,000
長期借入金の返済による支出	△2,638,112	△2,859,928
社債の償還による支出	△23,000	—
リース債務の返済による支出	△130,464	△194,033
自己株式の取得による支出	△378	△210
配当金の支払額	△717,345	△797,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	△726,891	41,015
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,895,833	△1,096,844
現金及び現金同等物の期首残高	15,397,504	15,935,326
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,293,337	14,838,482

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年5月1日至平成23年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,411,999	7,312,818	108,303	68,833,121	—	68,833,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	6,613	6,613	△6,613	—
計	61,411,999	7,312,818	114,917	68,839,735	△6,613	68,833,121
セグメント利益又は損失(△)	5,754,783	52,072	△36,395	5,770,460	△898,737	4,871,723

(注) 1. セグメント利益の調整額△898,737千円には、全社費用が802,726千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が58,721千円、セグメント間取引消去が37,290千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年5月1日至平成24年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,622,833	8,208,949	258,769	75,090,551	—	75,090,551
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,306	3,306	△3,306	—
計	66,622,833	8,208,949	262,076	75,093,858	△3,306	75,090,551
セグメント利益又は損失(△)	5,682,556	26,290	△223,915	5,484,931	△1,030,406	4,454,524

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,030,406千円には、全社費用が969,892千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が23,150千円、セグメント間取引消去が37,363千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社5社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期累計期間においては2,025,848千円であります。